

プレーパーク レポート

1/25
(日)

冬晴れで風が強い一日でした。時折やってくる強風に、段ボールや荷物が吹き飛ばされ、拾いに行く一場面もありましたが、さすがこどもは風の子。「まてー！」と叫ぶやいなや山の斜面を駆け下り、傾斜の上下で段ボールを挟み撃ちにしてくれました。あまりの寒さに退散される方もいましたが、54名の方にご参加いただきました。



さつまいもは10月の収穫以降、陰干しにしていますが、そろそろ限界を迎えています。今回焼けるものにはポップコーン・マシュマロ・ビスケット等、炙れるものを用意。大人向けには本場マンマーコーヒー生豆を、福島さん（テッサ店主）に差し入れいただきました。

前回からメニューに加わったコーヒーの焙煎作業は大人参加者さんに人気を博しています。作り方は簡単ですが、焦げてしまわぬように注意深く作業する必要があります。まずはフライパンに生豆を入れ、網をかぶせた状態で火の上で炒ります。「パチパチ」とはぜる音を聞きながらタイミングを計り好みのロースト具合に。次にコーヒーミルで擦り、ドリッパーでお湯を注げばできあがり。普段はインスタントコーヒーですませるところですが、丹精込めて一滴一滴だしたコーヒーは格別です。みんなに分配して一口ずつ味見していただいたところ、「おいしい！」「もう一杯！」という声があがりました。

「こどもも…」という声も聞かれましたが、普段は育児や仕事に頑張っている大人の方限定の楽しみとして、今後も守っていきたいと考えています。

今回は、風が強く焚火に挑戦することができなかつたのですが、「そのかわりに」とそらじいがかセットコンロ2台の簡易キッチンをこしらえてくれました。古い段ボールで風よけを作ったところ、以前利用した誰かがあけた「窓」が発見されました。発見者の大ちゃんはずかさずその「窓」を「ステージ」に見立て、人形劇を開始。コーヒー生豆を炒りながら、生の人形劇を間近に見るといってもレアな体験を楽しんでいただきました。



ポップコーン担当は、ここ数回の活躍によりポップコーン王子に任命された守屋くんです。豆へのこだわりはあるものの、「おねがい！ポップコーン王子！」の声がかかれば、ちょっと変わった豆でも挑戦してくれます。今回はちょっぴり焦げてしまいましたが、キャラメル味をはじめ種類の味を作ってくれたので子どもたちも大喜び！できたてアツアツを紙コップにとってあげると、欲しがっている子たちにどんどん渡してくれる上級生もいました。こども達が忘己利他の精神で周囲に心配りができるようになってきた証拠に、ふらふらと「マシュマロは〜？」とスタッフに聞きにくる子がいなくなりました。それは率先して配れる上級生が現れたからです。友人を引き連れてスタッフの元へ来て、「〇〇ちゃんと一緒にマシュマロ係になるね！」「私はマシュマロを配るから、〇〇ちゃんは串を配ってね」と言える上級生が増えたことにあります。

今日わくわくしながら取り組んでいるコーヒー焙煎やポップコーンやマシュマロ係は、大人の行動から学んだ上級生に、さらに上級生の姿から学んだ下級生にと引き継がれ、数年後にはすべて、率先して動けるこどもたちのものになっていることでしょう。教育とは結果があらわれるには時間がかかるものです。しかし、心ある大人たちが静かに導き守り育てることで、はっきり可視化します。小鹿野プレーパークは、こどもたちのどんな小さな成長も、じっと見守り、こどもたちの「できた！」の一言にハイタッチして喜び合える「場」に、着実に成長してきています。



ご協力いただいた店舗様/企業様

【チラシの掲示/配置/プレーパークで使えるような廃材のご提供】

両神道の駅、両神温泉薬師の湯、ローソン 小鹿野飯田、綿半、ラコマート、ウエルシア、ファミリーマート下小鹿野、セブン小鹿野バイパス、セブン下小鹿野、(株)イチワタ、亀吉パン、コメリ、一三三屋、加藤屋洋品店、近藤金物店、大塚金物店、八宮松雪堂、村上商店、(株)菊屋、肉の丸清、中野酒店、おもちゃのツカモト、村上文具、トミモ化粧品店、アライパン屋、ユニクス秩父、(株)源作ワイン、ふるさと両神蒟蒻専門店、小鹿野図書館、エネオス 小鹿野バイパスSS、太田甘池堂、須崎旅館、カインズ秩父店、(株)大野毛糸店、ヤマサ花店、トキワスーパー、パナピット・エルフ、マスダプロパン、越後屋旅館、巨香の郷、秩父富士、オンライン情報発信

その他掲載不可の企業様もいらっしゃいます。

お名前は記載できませんが、材料などをご提供いただきました皆様。

地域の遊び場作りにご協力いただきまして誠にありがとうございます♡